

第6章 総合評価

第6章 総合評価

「第5章 計画段階配慮事項に係る調査、予測及び評価の結果」において検討した各環境要素の評価結果を整理した総合評価は、表 6.1 に示すとおりである。

6.1 大気質

大気質については、予測結果（寄与濃度）にバックグラウンド濃度を加えた将来濃度は、いずれの対象計画案においても同等の値となり、すべての項目において環境基準を下回っていることから、重大な影響が生じることはないと評価する。

6.2 景観

いずれの対象計画案においても景観資源及び主要な眺望点の直接改変はないことから、計画施設の存在が重大な環境影響を及ぼすことないと評価する。

また、予測地点からの眺望景観について、景観 1 及び景観 3 については、眺望景観の変化は小さく、景観 2 及び景観 4 については、眺望景観の変化は大きいと予測する。

予測地点から計画施設を望む仰角は、景観 1 では B 案、景観 2 及び景観 3 では A 案のほうが大きく、景観 4 ではほぼ同等となっている。また、景観 1 の A 案及び B 案、景観 2 の A 案では、圧迫感を受ける目安である 10 度を上回っている。ただし、景観 1、2 ともに前述のとおり土砂の仮置き場や樹林、住宅等が手前にあり、建屋や煙突は一部が遮られ視認されないため、実際の圧迫感は小さいものと予測する。

施設の詳細な計画にあたっては、出来る限り影響を低減するように計画諸元を検討することから、いずれの対象計画案についても、眺望景観に重大な影響が生じることないと評価する。

表 6.1 総合評価

計画段階 配慮事項	項目	予測結果		総合評価
		A案 (煙突東側配置)	B案 (煙突中央配置)	
大気質	最大着地濃度 地点の将来濃度 (年平均値) (寄与濃度+バックグラウンド濃度)	二酸化窒素 (ppm)	0.0089	【対象計画案による比較】 いずれの対象計画案においても、予測結果は概ね同等の値となる。
		浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.0132	【重大な影響の有無】 環境基準を下回っていることから、重大な影響が生じることはないと評価する。
		ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	0.0377	
景観	景観資源及び 主要な眺望点の改変の状況		なし	
	眺望景観への 影響 (仰角)	景観 1 北側道路 (度)	13.9	16.0
		景観 2 ほのぼのテラス (度)	10.5	9.5
		景観 3 南側住宅地 (度)	6.2	5.9
		景観 4 愛知池運動公園 (度)	5.7	5.8